

8月 主題 「夏を感じて」

『1 あなたがたは神に愛されている子供ですから、神に倣う者となりなさい。2 キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい（8月中心聖句）。』

聖書 エフェソの信徒への手紙 5章1～2節

「神さまの愛に包まれて」

先月に続いて8月の月主題も「夏を感じて」が掲げられています。特に、今夏は日本各地で、連日最高気温を更新するほどの厳しい暑さが続いた年でありました。でも、子ども達は毎日、夏の太陽の日差しを浴びながら、その大きな光を反射するように元気一杯園庭で遊び、また水遊びを楽しんでいます。おそらく、子ども達なりに大自然の恵みを満喫しながら、この聖愛保育園で神さまの愛の光をいっぱいを受けて過ごして来たことでありましょう。そのような子ども達の過ごして来たひと夏の体験が、子ども達の記憶に深く刻まれ大切な宝物として、これからの成長を豊かに育んでいく力となっていくのです。

ところで、そんな子ども達の健気（けなげ）な姿を傍（そば）で眺めていると、自分の幼少時代は、夏をどのように過ごしていたのだろうか、と考えさせられる時があります。きっと、夏の楽しさを満喫し、思う存分味わっていたことだろう、と思うのです。でも、大人への階段を上り始めて行くと、あの楽しかった幼少時代の夏の思い出が、少しずつ記憶の片隅に遠く自分に気付かされます。おそらく、大人になるにつれて、幼少期の楽しかった記憶よりも、目の前の雑事に心が奪われ、ゆったりと夏の素晴らしさを味わうことが、毎年難しく感じているのは、実は私だけではないでしょう。

そこで、私が学生時代にある一つの詩に出会いました（もう20年ほど昔になりますが…）。その時の感動は今でも鮮明に蘇ってきます。その理由は、この詩が感動的であればあるほど、この詩人は、一体、どのような人生を歩まれて、どのような心境からこの詩を作ったのだろうか、と考えさせられるからです。それほど、当時の私には、心にポツカリと穴が開いた日々を過ごしていたように思うのです。

その詩は、マーガレット・F・パワーズという詩人によって書かれた『あしあと（フット・プリント）』という詩であります。以下にご紹介いたします。

「ある夜、わたしは夢を見た。わたしは、主（神さま）とともに、なぎさを歩いていた。暗い夜空に、これまでのわたしの人生が映し出された。どの光景にも、砂の上に二人の足跡（あしあと）が残されていた。一つはわたしのあしあと、もう一つは主（神さま）のあしあとであった。これまでの人生の最後の光景が映し出されたとき、わたしは砂の上のあしあとに目を留めた。そこには一つのあしあとしかなかった。わたしの人生で一番つらく、悲しい時だった。このことがいつもわたしの心を乱していたので、わたしはその悩みについて主（神さま）にお尋ねした。『主（神さま）よ、わたしがあなたに従うと決心したとき、あなたは、すべての道において、わたしとともに歩み、わたしと語り合ってくださいと約束されました。それなのに、わたしの人生のいちばんつらい時、一人のあしあとしかなかったのです。一番あなたを必要としたときに、あなたが、なぜ、わたしを捨てられたのか、わたしには分かりません』。

主（神さま）は、ささやかれた。『わたしの大切な子よ。わたしは、あなたを愛している。あなたを決して捨てたりはしない。ましてや、苦しみや試みの時に。あしあとが一つだったとき、わたしはあなたを背負って歩いていたのだ』。

現代の私たちは、日々の生活の中で、何度も孤独や不安を感じてしまうことが少なくはありません。それは、子育ての問題だけでなく、自分の生き方そのものに迷ってしまうことがあります。まるで、突然、目の前に広がっていた自分の人生という道が遮（さえぎ）られてしまい、暗い谷間や大きな穴の中に落ち込んでしまうように感じてしまうことがあります。

おそらく、この詩人も、そうように感じるまでは、いつも神さまに守られ、神さまの愛を感じながら、その道と一緒に歩んでいる、と思っていたことでありましょう。しかし、人生の一番つらく悲しい時、自分が、一体ど

こを歩いているのかさえ見失ってしまった、と言うのです。だから、なぎさに一つの足あとしか残されていなかったように、孤独を感じずにはおれませんでした。しかし、その一つの足あとは実は自分の足あとではなく、神さまが、悲しんでいるこの私を背負って歩かれた足あとだったことに、この詩人は後に気付かされるのです。

神さまの愛に守られていることに気付く時、心にポツカリと開いた穴から、これまで見えなかった大切なものが見えてきます。そして、これが神さまに愛されている体験であること聖書は伝えているのです。

私は学生時代に、この詩を通して、神さまを知り、その愛に触れた時、もう自分は一人ぼっちではない。これからは、神さまの愛に包まれて生きようと決心しました。

子ども達は、毎日この聖愛保育園で神さまの愛に触れて、力強く大地を踏み出しています。そこには、楽しい足あともあれば、そうでない足あともあるかもしれません。しかし、子ども達が成長していく中で、その足あとが、本当はいつも神さまに背負って頂いていた神さまの足あとであったことに気付く時が来ることを私は信じて止みません。いつも子ども達が神さまの愛に包まれて歩む人になることを心から願いながら、秋の季節を迎えて参りたいと思います。

行事予定

- 8月28日(水) 英会話(すずらん組)
 - 9月2日(月) 合同礼拝(以上児クラス)
 - 9月4日(水) 英会話(すずらん組、ゆり組)
 - 9月12日(木) 運動会実行委員会 19時～
 - 9月21日(土) **第62回聖愛保育園運動会** 於：湯布院町中央児童公園
雨天時の場合は、B&G体育館(湯布院中学校隣り)で行います。
※ 後日、運動会に関するお便りを配布致します。
 - 9月24日(火) 避難訓練
 - 9月25日(水) 英会話(すずらん組)
 - 9月27日(金) 合同礼拝・誕生日会
 - ◎ 10月24日(木) 秋のふれあいバス遠足…後日、お知らせ致します。
 - ◎ 10月30日(水) 劇団クラルテ
- ※ 保育園行事に参加される保護者の皆さまは、早めにご予定を入れて下さいますようお願い致します。



お知らせ

- ☆ 新入園児のお友だちを紹介します。宜しくお願い致します。
 - ・ ちゅうりっぷ組 麻生 紗羽 (あそう さわ) ちゃん
- ☆ 8月中に実習生が本園で保育実習を致します。宜しくお願い致します。
 - 麻生 しほり さん(別府短期大学保育科2年)(8月30日・金～9月10日・火)
 - 安部 絵莉香 さん(西南女学院短期大学2年)(9月3日・火～9月5日・木)
- ☆ **ご協力をお願いします**
毎年、中央児童公園の広場で運動会の練習を行います。9月2日(月)と3日(火)の夕方5時30分より公園内の**草取り**を致します。保護者の皆さんの中で、ご協力頂ける方はクラス担任までお知らせ下さい。
参加して下さい方は、軍手、スコップなどをご用意下さい。宜しくお願い致します。
- ☆ 毎週日曜日、午前9時から9時30分まで子ども達の教会学校を行っています。
静かな朝、神さまを礼拝し、神さまの愛と祝福を味わうひと時をご一緒に過ごしてみませんか。
関心のある方は、小森 牧師か利光 先生までご連絡下さい。
又、8月中の教会学校はお休みとします。**9月1日(日)**より再開します。

